



足立区議会だより

発行/東京都足立区議会 ☎(3882)1111 No. 136

第 1 回
定例会



区立千住大川端公園

平成5年度4会計予算を可決

平成5年第1回足立区議会定例会は、3月2日から31日までの会期30日間で行われました。

会議のあらまし

区長提案はすべて原案可決

平成5年度一般会計、国民健康保険特別会計、老人保健医療特別会計、新たに設置された用地特別会計の4会計予算については、予算特別委員会を設け、また、それ以外の議案は各常任委員会に審査を付託しました。

この結果、4会計予算はいずれも可決、他の議案も原案どおり可決とする各委員会報告とおり、本会議で議決されました。

意見書1件を可決し提出

議員から提出された景気対策として大規模減税を求める意見書については、委員会付託を省略して本会議で審議が行われ、全会一致で可決し、関係機関に提出しました。

助役の選任に同意

今定例会で区長から、鈴木恒年助役の再任について、議会の同意が求められました。

議会は異議なく、全会一致でこれに同意しました。

主な内容

- 区政を問う（代表質問） 2～5 頁
- 可決した主な議案 5～6 頁
- 平成5年度予算審査のあらまし 6～8 頁
- 永年在職議員を表彰 6 頁
- みなさんからの請願・陳情 8 頁
- 今定例会で可決した意見書 8 頁

問う

次の定例会本会議は—
6月3日・4日・14日
に開会される予定です。

各党・会派の代表質問

議案の審議に先立ち、各党・会派を代表する12人の議員が、3日間にわたり、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

自由民主党 足立区議団



杉山 秀雄
議員

今後の財源確保の見通しを伺う

【問】まれにみる厳しい財政環境の中にあつて、区の平成5年度一般会計予算は2千194億円余と対前年度比1.7%増となつてい

る。前年度が16.7%という全国自治体でも突出した伸びを記録した後であり、相当積極的な予算

と言つても過言ではないと思つ

が、庁舎建設、鉄道新線、再開

発事業と大型プロジェクトが目

白押し現状を考えた場合、財

政基盤の弱い当区にあつては、

財源確保に一抹の不安を感じる

が、今後の見通しはどうなのか。

【答】平成5年度予算について

は、景気変動を予測して計画的

に積立をした財政調整基金等を

積極的に活用して編成した。今

後の大型建設事業の財源対策と

しては、財源の重点的・効率的

な配分、起債の積極的な活用、

事務事業の見直しによる計画的

な資金の積立により、計画事業

を着実に実現させていきたい。

公債費比率の最大値はどの位の

限度と考えているか

【問】特別区債については4年

度につき100億円を超え、新設の用地特別会計でも起債が充てられては、後年度負担を考えた場合、公債費比率の最大値はどの位の限度になるのか。
【答】後年度負担に十分配慮しつつ、起債を積極的に活用して魅力ある足立づくりを実現して



本庁舎跡利用について伺う

【問】懸案となつていた本庁舎跡利用については、この度審議

会の答申が出され、ホテルや多

目的ホール等を核とした施設建

設が提言されているようだが、

千住地区で国際ホテルの営業が

成り立つかどうかは、北千住駅

西口再開発の成否とも大きな係

わりを持つと思う。これらの整
合性についてどう考えているか。
【答】現在千住地区には、ご指

摘の北千住駅前のほか、千寿旭小学校跡及び千寿第六小学校跡といった拠点開発計画がある。これらの中で、北千住駅を「街心」、本庁舎跡をはじめとする3つの拠点を「副街心」と位置づけ、相互に連携させネットワーク化を図ることにより、千住地区の活性化の条件を整えたい。高齢者向民間集合住宅借上事業について伺う
【問】この度入居の運びとなつたシルバーピア東綾瀬では5倍の応募があつたと聞いている。今の計画では、今回応募した方々だけで満杯になってしまうが、この事業が周知されれば需要も増大する。計画を拡充する必要があると思うがどうか。
【答】区の整備する民間借上げによるシルバーピアの目標は240戸となつている。シルバーピア東綾瀬は平成3年度にモデル実施したものであり、今年度以降毎年2カ所ずつ概ね50戸の整備を進めていく予定である。この他、高齢者の住宅確保については、「地域高齢者住宅計画」に基づき、都営住宅、公団住宅等におけるシルバーハウジング及びケアハウス等により合計千220戸の計画となつており、実現に努めていくところである。
【問】自らの個人資産を活用して日々の生活を豊かにする「個人資産活用事業」を開始したとのことだが、実施にあたっては難しい点が多いと思うが、ぜひ成功させたい事業である。この



石川 純
議員

事業の骨子と実施に際しての課題点を伺いたい。

【答】本事業は高齢者が居住する不動産を担保に、あいあい公社が区内の金融機関と提携し、在宅福祉に必要な資金を貸し付ける制度である。元金は金融機関が、利息は公社が無利子で貸し付けており、資金の使途は生活資金のほか、公社の有料サービス利用費や医療費、住宅改良費など一時的に多額にかかる費用も貸付対象としている。問題点としては、担保切れや担保物件の減価、二重抵当の問題、相続人との関係等いくつかあるが、残余財産の処分をめぐる相続人との関係が最も大きな問題であると考へており、トラブルが発生しないよう対応したい。

【問】地域住民の悲願である日暮里・舎人線の進捗状況について伺う

【答】地域住民の悲願である日暮里・舎人線については、平成11年の開業をめざして鋭意努力がなされているが、先の計画委員会では区内9駅を含む13駅が示された。沿線住民の最大の関心事であるこれらの駅の位置を含む都市計画素案の策定は、都知事の答弁にもあるように年度内を目標に進められていくと思

うが、進捗状況はどうか。

【答】ご指摘のとおり、今年度内を目標に鋭意都市計画素案を策定中であり、現在大分詰まつてきていると伺っている。区としては、一日も早くその素案が策定されるよう、関係の荒川区

とともに東京都を積極的に支援してまいりたい。



高野地区土地区画整理事業について伺う

【問】区施行の区画整理事業第1号の高野地区については、日暮里・舎人線の駅誘致が実現した場合、現行区画整理事業の変更規模はどの程度のものになるのか。また、事業推進に伴う土地利用のあり方についてどのような事を考へているのか。

【答】地区内への駅誘致については、すでに東京都からかなりいい感触を得ているが、総合的なまちづくりのための交通広場には、約千200〜千400㎡程度の面積が必要となり、平均減歩率は約2%上昇が見込まれている。いづれにしても、間近に予想される日暮里・舎人線の素案発表などを踏まえながら検討したい。

地区の土地利用については新駅誘致を含めた当地区の区画整理事業を整合したまちづくりのあり方を現在調査中であり、地元の皆様意向も踏まえながら検討してまいりたい。

上沼田地区区画整理事業の現状と今後の見通しはどうか

【問】この地区は、平成3年2月に行われた地元説明会以来事業が完全にストップした感があり、地元ではもうやらないのではないかと噂さえるが、事

業の現状と今後の取組みの見通しについて聞きたい。

【答】昭和63年以来地域の方々との話し合いを進めてきたが、進展が見られず今日に至っている。現在地区内の全地権者を対象に家庭訪問などを重ねており、今後はこれらの積み重ねを踏まえ、年度内には何とか個別相談会を開催して合意形成に努め、知事認可に向けて事業計画案づくりに入つてまいりたい。

北千住駅西口再開発新組織の役員になぜ区は入っていないのか

【問】懸案の北千住駅西口再開発に進展を思わせる新組織「連合準備組合」が設立されたが、なぜ最大の地権者である区や、第三セクターである足立市街地開発株式会社が、組合の役員に入っていないのか。

【答】新しい地権者組織である連合準備組合には、ご指摘のように役員に名を連ねていないが、昭和55年の準備組合設立以来の経緯も踏まえて、そのような結果になったものと理解している。再開発事業は組合施行であっても、一貫して行政が指導支援を行う立場にあり、今後とも、連合準備組合、区、足立市街地開発株式会社の3者が緊密な連携を図り、一日も早い事業化をめざして取り組んでまいりたい。

総合文化センターの設置場所は再検討すべきではないか

【問】北千住駅西口再開発ビルに区の総合文化センターを設置することは、ビル最上階に千800



安達 正興
議員

業の現状と今後の取組みの見通しについて聞きたい。
【答】昭和63年以来地域の方々との話し合いを進めてきたが、進展が見られず今日に至っている。現在地区内の全地権者を対象に家庭訪問などを重ねており、今後はこれらの積み重ねを踏まえ、年度内には何とか個別相談会を開催して合意形成に努め、知事認可に向けて事業計画案づくりに入つてまいりたい。
北千住駅西口再開発新組織の役員になぜ区は入っていないのか
【問】懸案の北千住駅西口再開発に進展を思わせる新組織「連合準備組合」が設立されたが、なぜ最大の地権者である区や、第三セクターである足立市街地開発株式会社が、組合の役員に入っていないのか。
【答】新しい地権者組織である連合準備組合には、ご指摘のように役員に名を連ねていないが、昭和55年の準備組合設立以来の経緯も踏まえて、そのような結果になったものと理解している。再開発事業は組合施行であっても、一貫して行政が指導支援を行う立場にあり、今後とも、連合準備組合、区、足立市街地開発株式会社の3者が緊密な連携を図り、一日も早い事業化をめざして取り組んでまいりたい。
総合文化センターの設置場所は再検討すべきではないか
【問】北千住駅西口再開発ビルに区の総合文化センターを設置することは、ビル最上階に千800

代表質問

傍聴してみませんか
区議会本会議は公開されています

区政を



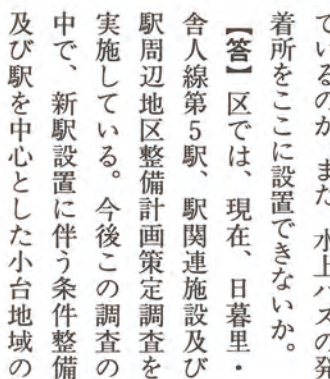
吉川 一
議員

【問】日清紡は、現在住宅・都市整備公団と共同で将来の土地利用計画を研究中である。日清紡の土地利用計画が、区の地区再生計画と整合性のとれた内容となるよう擦り合わせを行いながら、地区再生計画の具体化をめざして取り組んでまいりたい。



席のホールを置くことに伴う問題や、地下鉄振動、交通混雑、地元に及ぼす経済効果等種々の問題点が指摘されている。北千住再開発ビル内という考えを、まず白紙とし、あらゆる角度から再検討をすべきではないか。

【問】西新井駅西口地区再開発に関する日清紡の考え方を伺う
【答】せっかくできた西新井駅西口再生計画も、日清紡の土地利用が不明確だと建設大臣の承認が受けられないと聞いている。日清紡との協議はどうなっているのか。
【問】日清紡は、現在住宅・都市整備公団と共同で将来の土地利用計画を研究中である。日清紡の土地利用計画が、区の地区再生計画と整合性のとれた内容となるよう擦り合わせを行いながら、地区再生計画の具体化をめざして取り組んでまいりたい。



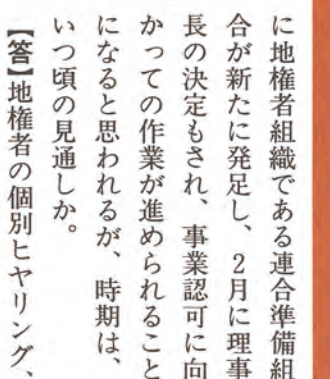
【問】総合文化センターの建設については、北千住駅西口地区再開発を推進していく中で、具体的に詰めてまいりたい。仮りに、同センターの計画が再開発事業促進の障害となる場合には、ご指摘のとおり計画見直しの必要性があるものと考えている。

【問】都市計画道路補助138号線の予定通過地、梅田五丁目から関原地区を経て100号線までは前期に着手すべき路線となつていますが、今後の見通しはどうか。
【答】ご質問の箇所は第2次前期事業化計画路線に入っており、事業化計画期間内に事業着手を図りたい。木造家屋等が密集しており、事業化にあたっては様々な問題が予想されるが、地元の意向を十分に踏まえながら作業を進めてまいりたい。



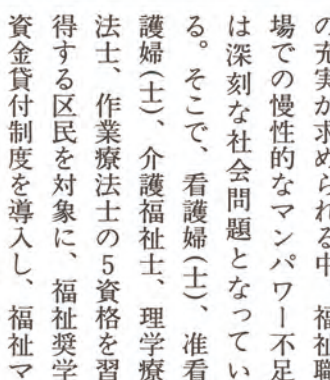
【問】日清紡の敷地千577坪は平成4年4月に住宅・都市整備公団に売却され、平成6年9月完成予定で188戸の住宅が建設されているが、日清紡は区のまちづくり攻勢にどう対応しようとしているのか。また、東武鉄道の梅島車両工場跡地の土地利用計画はどうなっているか。
【答】現在区が取組んでいる西新井駅西口地区再生計画において、日清紡、東武車庫跡地の土地利用計画はどうか。

【問】昭和三十五年12月に、北千住駅西口再開発準備組合が発足しすでに12年が経過した。その間の様々な経緯を踏まえ、昨年末



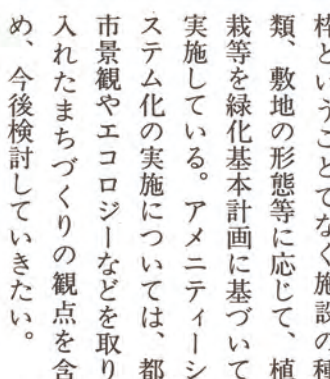
では、日清紡の敷地について商業、業務、住宅などの複合的な用途を提案している。今後日清紡と擦り合わせを行いながら、地区再生計画の具体化に向けて取り組んでまいりたい。

【問】昭和三十五年12月に、北千住駅西口再開発準備組合が発足しすでに12年が経過した。その間の様々な経緯を踏まえ、昨年末



【問】昭和三十五年12月に、北千住駅西口再開発準備組合が発足しすでに12年が経過した。その間の様々な経緯を踏まえ、昨年末

【問】昭和三十五年12月に、北千住駅西口再開発準備組合が発足しすでに12年が経過した。その間の様々な経緯を踏まえ、昨年末



【問】昭和三十五年12月に、北千住駅西口再開発準備組合が発足しすでに12年が経過した。その間の様々な経緯を踏まえ、昨年末

泊・住居については、一般住居への公的支援と援護寮やグループホームまで含めて広く検討していただくことになっている。



アルコール関連問題を伺う

【問】近年、飲酒の慣習が社会環境の変化で変わりつつある。若年の男女でも差がなくなり、主婦の間でも飲酒の機会が多くなるなど、誰でもアルコール依存症に陥る危険性がある。そこで、当区としてもその防止策を真剣に考えるべきではないか。

【答】アルコール依存症対策として、保健所で酒害相談を実施している。また、家族会等でも活動を展開しているが、今後はその対象を広げ、職場・地域の方々に対しての講習会等を充実させていきたい。



友利 春久 議員

余裕教室の活用を工夫せよ

【問】平成4年5月現在で、小学校719教室・中学校379教室の余裕教室がある。そこで、この余裕教室のリニューアルについては、画一的なものではなく、地域及び学校の特色を生かしたものととして実施すべきと思うがどうか。

【答】リニューアル計画は「足立区教室等利用検討委員会報告」に基づき、児童生徒の個性化教育や生涯学習のための開かれた施設としての活用をめざしている。今後、学校や地域の意見を十分に聞いて、特色を生かした計画を進めていきたい。

【問】文部省が、高校入試や中学校の指導現場から業者テストを追放する方針を打ち出した。偏差値依存にメスを振った大手術であり混乱は必至である。進路指導のあり方、生徒や親の意識の変革も求められるが、その前に現在の状況説明を教師・生徒・親にすべきではないか。

日本共産党 足立区議団



大森 健司 議員

臨海副都心開発計画の見直しを都知事に要望せよ

【問】臨海副都心開発は、大企業主導の無謀な計画で、この不況の中でゆきづまりは明らかで、このまま続ければ孫子の代まで都民に借金を残す危険もある。区長は、この臨海副都心計画の凍結及び世界都市博の中止、臨海部埋め立て地の利用計画の再検討を都知事に要求せよ。

【答】バブルがはじけた不況下の現在、様々な問題があると思うが、臨海部は都心に近接し21世紀に向けた新たな都市づくりを進めるための貴重な財産である。都知事に対して、再検討を要求する考えはない。

第二次不況対策緊急融資を早急

【答】平成6年度より都立高校の入試選抜方法が大幅に変わるなど、進路指導の在り方についての関心が高まっている。区教育委員会としても、この問題について校長会を通して状況を説明し、教師・生徒・親への周知が十分なされるように対処していく所存である。



に実施せよ

【問】区の不況対策緊急融資が1千33件・43億6千50万円の貸し付けとなったことは、この不況がどんなに区内中小企業を苦しめているのかを示している。そこで、他区では既に実施している第二次不況対策緊急融資を早急に行なうべきではないか。

【答】第二次緊急対策融資は、実施の方向で関係金融機関と協議している。その際、事業者の立場で検討していきたい。

【問】足立児童文化センター・ホールの工事では第一次下請け82社中5社(平成4年12月現在)新庁舎建設工事では23社中2社(平成5年2月現在)しか区内業者が入っていない。これでは、区の独自の公共事業と言っても区内業者の仕事確保には全くなっていない。区の発注工事の元請け大企業に対し、下請け企業のうちの区内業者の割合を50%以上にするよう行政指導せよ。

【答】行政指導で下請け先を区内業者優先とすることは、受注業者の取引関係も様々で、円滑な工事の施工に支障となる場合も予想される。この件は、工事を受注した業者の自主的な判断に委ねることが妥当だと考える。

【問】先日の釧路地震では、家具の転倒・落下による怪我などが多く、家具を固定している家が意外なほど少なく、近年の地震災害の教訓が生かされなかった。まず、我が身を守るための大切なと同時に、この面での具体的な啓蒙に力を入れ、特に、高齢者・障害者世帯には転倒防止器具を配付してはどうか。

【答】ご提案の転倒防止器具を区で配付という考えはないが、釧路の例を教訓とし、今後もある機会を通じ家具類の転倒防止に対する啓蒙を図りたい。

【問】足立児童文化センター・ホールの工事では第一次下請け82社中5社(平成4年12月現在)新庁舎建設工事では23社中2社(平成5年2月現在)しか区内業者が入っていない。これでは、区の独自の公共事業と言っても区内業者の仕事確保には全くなっていない。区の発注工事の元請け大企業に対し、下請け企業のうちの区内業者の割合を50%以上にするよう行政指導せよ。



大島 芳江 議員

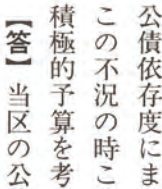


日常生活支援事業の拡充を図れ



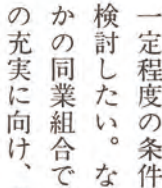
額賀 和子 議員

【問】入浴や食事は人間として生きていく上での最低の権利である。人権が制限される刑務所



秋山 秀俊 議員

【問】区内の公債費比率は平成2年度8%になったものの、この数年7%台で推移している。平成5年度には7.4%が見込まれ、10%を目安に見直しを検討



日本社会党 足立区議団

【問】アレルギー(アトピー)は、妊婦の時から予防によっでは、かなりの発症がおさえられることが明らかになっている。しかし、当区では全く母親



【問】給食サービスは、一部地域であいい公社が実施しているが、当面は全区拡大につとめたい。入浴サービスは、月2回のところを、平成5年度から月2.5回に拡充したい。ご指摘の週2回以上のように一気に拡充することは当面は困難と考える。

【問】アレルギー(アトピー)は、妊婦の時から予防によっでは、かなりの発症がおさえられることが明らかになっている。しかし、当区では全く母親

【問】現在、保健所の4ヵ月健診は90%を超える受診率であり、そこで両親のアレルギー疾患の有無なども含めた問診により、個別的な指導を実施している。ご提案の冊子の作成・配布による一般的指導は、個別指導を支援する材料として研究したい。

【問】不況の中、日本で働く外国人の職場問題、健康、住宅等の不安やトラブルがあっても相談する場がないのが現状である。外国人のための総合相談窓口を開設すべきと考えるがどうか。

【答】外国人の相談窓口の設置は、外国人の増加状況や相談内容の動向を踏まえ検討したい。ただ、行政が窓口となると法律がからむ件も多く、利用しにくい面もある。第三者的機関での対応の可能性も含め検討したい。



足立区民連合



逸見 英幸
議員

商店街における駐車場・駐輪場対策、歯抜け店舗対策を問う

【問】都市活性化センター発足の際、商店街における駐車場・駐輪場対策、いわゆる歯抜け店舗対策に取り組むことになってきたが、現在どうなっているか。

【答】昨年の 8 月から北千住と竹の塚地区で駐車場事業を開始している。今後は綾瀬地区でも開設・運営を検討していきたい。

歯抜け対策については、現在商店街データベースを作成中である。これにより空き店舗情報を収集する一方、区内の中小事業者の方々からの出店希望を募ってまいりたい。



都市型CATV導入を問う

【問】電波障害に対する苦情相談は、今後はCATVを念頭に置いて原因者に対応すべきと思うがどうか。また、今後のスケジュールはどうなっているのか。

【答】今後はCATVを電波障害対策に位置付け、行政、開発業者の負担を含めて総合的に対応する必要があると考えている。平成 5 年度にCATV事業化に向けての調査を行うとともに研究会を設置して検討を進めたい。この結果を踏まえ、平成 6 年度以降導入準備委員会の設置に向け努力していきたい。

公共地下駐車場の建設を問う

【問】綾瀬駅東口前通称ハト公園及び竹の塚第六公園の公共地下駐車・駐輪場の進捗状況はどうか。

【答】調査を実施した結果、採算性等の問題はあるが、技術的に建設は可能である。しかし、公園の地下利用には様々な制約があるため、他都市の事例を参考にしながら、その整備手法等について、国、都等と積極的に協議を進めてまいりたい。

可決した主な議案

予 算

平成 5 年度一般会計予算
平成 5 年度国民健康保険特別会計予算
平成 5 年度老人保健医療特別会計予算

平成 5 年度用地特別会計予算
内容を 8 頁に掲載
平成 4 年度一般会計補正予算(第 3 号)

平成 4 年度予算総額を 2 千 235 億 303 万 9 千円とするもの
平成 4 年度国民健康保険特別会計補正予算(第 2 号)

平成 4 年度予算総額を 382 億 909 万 9 千円とするもの
平成 4 年度老人保健医療特別会計補正予算(第 1 号)

平成 4 年度予算総額を 283 億 7 千 113 万 5 千円とするもの
条例の制定・改正

足立区用地特別会計条例

公共用地の先行取得を容易にするとともに、用地買収に関する経理を明確にするために用地特別会計を設置するもの
足立区組織条例の一部を改正する条例

組織改正に伴い、地域振興部及び土木部の分掌事務の変更
足立区職員定数条例の一部を改正する条例

職員定数 4 千 840 人(合計)を 4 千 725 人に改めるもの
足立区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

育児時間利用対象職員の拡大

足立区附属機関の構成員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

附属機関構成員の報酬額改定
足立区非常勤職員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

非常勤職員の報酬の限度額の改定
足立区長等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

常勤の監査委員の退職手当の改定
足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正により、規定を整備するもの
足立区国民健康保険養育所条例の一部を改正する条例

国民健康保険養育所の使用料に関する規定を整備するもの
足立区立区民保養所条例の一部を改正する条例

那須区民保養所(所在地・栃木県那須町大字湯本字新林 206 番)の設置ほか規定の整備
足立区立児童館条例の一部を改正する条例

本木東児童館を廃止するもの
足立区立児童館条例の一部を改正する条例

本木東児童館児童保育室の名称を、本木東児童保育室に変更するとともに、興本児童保育室を設置するもの
足立区社会福祉法人の助成に関する条例

業を拡大するとともに社会福祉法人に対する助成を統一的に処理するための関連条例の整備

足立区児童育成手当条例の一部を改正する条例
手当の額の改定

足立区高齢者福祉手当条例の一部を改正する条例
手当の額を改定するとともに規定を整備するもの

足立区授産場条例の一部を改正する条例
土曜日を休業日とするもの

足立区心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例
手当の額の改定

足立区難病患者福祉手当条例の一部を改正する条例
手当の額の改定

足立区保健所使用条例の一部を改正する条例
保健所診断書手数料の改定

足立区プール取締条例の一部を改正する条例
プールの排水設備の基準を改めるとともに、専修学校のプールを経営許可対象から除外するほか、規定を整備するもの

足立区立児童遊園条例の一部を改正する条例
伊興こもれび児童遊園及び、本木北児童遊園を開設するもの

足立区神明三丁目地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
足立区扇一丁目地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

足立区中央本町地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

例

足立区梅島地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
足立区に係る治道整備計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

以上 5 件いずれも、建築基準法の一部改正に伴う規定の整備
足立区住宅修繕資金及び宅地整備資金融資基金条例の一部を改正する条例

基金の額を調整するもの
足立区地区計画等の案の作成手続に関する条例の一部を改正する条例

都市計画法の一部改正により規定を整備するもの
足立区不燃建築物促進助成条例の一部を改正する条例

不燃建築物の促進を図るため助成範囲を拡大するもの
東京都計画事業高野土地地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例

事務所の所在地を、千住一丁目 4 番 18 号から中央本町一丁目 17 番 1 号に変更するもの
足立区教育研究所条例

教育センターを廃止して、教育研究所を設置するもの
足立区立健康学園施設使用条例の一部を改正する条例

一室の使用人員及び使用料に関する規定を整備するもの
足立区立林間学園条例の一部を改正する条例

足立区野外活動施設条例の一部を改正する条例
以上 2 件いずれも、使用料に関する規定を整備するもの

足立区議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

正する条例

区議会議員の報酬月額額の改定
足立区行政委員会の委員及び非常勤の監査委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

非常勤の監査委員の報酬月額額の改定
足立区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例

区長等の給料月額額の改定
足立区教育委員会教育長の給料等に関する条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、非課税の範囲を拡大するほか、規定の整備を行うもの
請負契約

①契約金額②相手方(JV)共同企業体③方法
舎人四丁目付近枝線その 2 工事及び掘削復旧工事 ① 8 億 8 千 65 万円②奥村・足立建設JV③指名競争入札

東伊興二丁目付近枝線その 2 工事及び掘削復旧工事 ① 10 億 940 万円②内田・英興建設JV③指名競争入札

島根三丁目付近枝線その 2 工事及び掘削復旧工事 ① 9 億 9 千 395 万円②河合・佐藤建設JV③指名競争入札

保木間五丁目、花畑五丁目付近枝線その 3 工事及び掘削復旧工事 ① 8 億 1 千 370 万円②新井・大昌建設JV③指名競争入札

保木間堀親水整備工事 ① 4 億 3 千 466 万円②英興・中妻建設JV③随意契約

保木間堀親水整備工事 ① 4 億 3 千 466 万円②英興・中妻建設JV③随意契約

審査の経過



平成5年度各会計予算審査の あらましと各党・会派の態度

予算特別委員会を設置
今定例会に、区長から、一般会計、国民健康保険特別会計、老人保健医療特別会計、用地特別会計の4会計に係る平成5年度予算案が提出されました。これを受けて議会は、3月4日の本会議において予算特別委員会を設置し、委員28名により3月10日から3月17日までの延べ6日間にわたって慎重かつ積極的な審査を重ねました。

委員会は審査に先立ち、委員長に馬場繁太郎議員、副委員長に西口喜代志議員、伊藤和彦議員の2名を選任し、引き続き審査に入りました。

今回の委員会において焦点となった主な事項としては、今後の財政運営の基本的考え方・厳しい財政環境下での基金・公債の計画的な運用方針、都市型CATV導入による地域情報化の推進、公営事業の前倒しや緊急対策融資等の不況対策、高齢化社会へ向けマンパワーの確保等を含めた地域保健福祉計画策定のあり方、社会問題化しているエイズ対策、都市計画道路の整備促進、良好な都市景観づくりのための電線地中化推進、北千住駅西口再開発の事業手法、日暮里―舎人線・常磐新線などの交通問題対策、給食調理委託や週5日制導入後の現状を初めとする学校教育の諸課題、生涯学習推進のための児童文化センター・新中央図書館等の施設整備などがありました。さらに、各党、各会派委員から、それぞれの立場で区政全般にわたり活

伴う協定変更をするもの
協定金額7億9千62万5千円↓
7億9千836万3千円に増額

延べ6日間に及ぶ質疑を終結し、引き続き自由民主党白石正輝議員、公明党山本明義議員、共産党伊藤和彦議員、社会党野中栄治議員、区民連合逸見英幸議員の各党・各会派を代表する5人の委員から、予算4議案に対する意見(討論)が述べられました。その内容(要旨)は、次頁に記載のとおりです。

討論終結後、4議案をそれぞれ採決に付したところ、いずれも共産党を除く各党・各会派の賛成多数により、原案どおり可決されました。

委員会における審査の経過及び結果は、3月31日の本会議において馬場委員長から報告がなされ、引き続き採決が行われました。

結果は委員会審査結果のおとより賛成多数で可決され、平成5年度予算が成立しました。

藤木 二幸議員

小久保雅捷議員

平成5年3月9日、区議会議員として30年在職された左記の議員に対し、特別区議会議長会から表彰が行われました。

特別区議会議員表彰 (在職30年)

当選8回、議長、副議長、議会選出監査委員、総務委員長、企画総務委員長、予算特別委員長、決算特別委員長、運営委員長、議会選出農業委員等を歴任

当選8回、副議長、議会選出監査委員、厚生委員長、土木委員長、厚生福祉委員長、区民衛生委員長、区民委員長、建設委員長等を歴任

- 都市農業公園建築改良工事 ①10億4千30万円②服部・相沢建設JV③指名競争入札
- 都市農業公園電気設備改良工事 ①1億7千819万円②東設・サンデン建築JV③指名競争入札
- 都市農業公園造園改良工事 ①5億470万円②太陽・富士植木建設JV③指名競争入札
- (仮称)東京都足立区立鋸南自然の家建設工事(2期) ①22億4千25万円②東急・計建設JV③指名競争入札
- (仮称)東京都足立区立東伊興住宅センター新築工事 ①2億6千115万5千円②田中建設工業(株)③指名競争入札
- (仮称)東京都足立区児童文化センター・ホール新築外構工事 ①2億9千973万円②鴻池・大末・堀真建設JV③随意契約

契約の変更
現在施工中の請負契約に設計変更が生じたため、契約金額を変更するもの

東伊興二丁目付近枝線工事及び掘削復旧工事
13億939万7千800円↓13億3千503万4千500円

(仮称)湧愛橋人道橋架橋工事
1億6千686万円↓2億708万1千500円

その他の議案
町区域の新設及び一部変更について

専決処分の報告
損害賠償の額の決定
区道を歩行中、道路陥没部分に足をとられ、骨折したのに伴う、損害賠償の額(6万円)の決定

議決を得た契約の変更
(仮称)足立区まちづくり工房館新築工事ほか10件
議決を得た協定の変更
東京都市計画道路補助線街路第100号線及び足立区道(足立5号線、西新井28号線及び同301号線、西新井28号線及び同301号線)

■特別区道路線の認定

所 場 地	延長(m)	幅 員 (m)
千住五丁目地内	25.49	4.50
舎人町付近土地区画整理組合施行地内	493.34	5.63~8.67
六月二丁目地内	90.112	6.001~6.381
千住五丁目地内	114.719	9.426~11.707
入谷九丁目地内	71.165	9.006~9.018
入谷九丁目地内	86.516	9.000
保塚町地内	56.78	4.20
梅島三丁目地内	57.00	4.00
花畑町土地区画整理組合施行地内	53.51	4.00
古千谷四丁目地内	82.50	4.20
入谷九丁目地内	40.40	6.00

■区有通路路線の設置

所 在 地	延長(m)	幅 員 (m)
江北二丁目地内	86.52	3.85~4.04

■特別区道路線の廃止

所 在 地	延長(m)	幅 員 (m)
綾瀬四丁目地内	127.20	1.82
千住緑町二丁目地内	65.20	1.82
千住五丁目地内	31.82	1.82~2.66
綾瀬四丁目地内	81.00	2.73

意見の分かれた案件

(注) ○…賛成 ×…反対

件 名	結 果	会 派 名				
		自由民主党	公明党	共産党	社会党	区民連合
平成5年度足立区一般会計予算、平成5年度足立区国民健康保険特別会計予算、平成5年度足立区老人保健医療特別会計予算、平成5年度足立区用地特別会計予算、平成4年度足立区一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	×	○	○
足立区議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例、足立区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例、足立区教育委員会教育長の給料等に関する条例の一部を改正する条例、足立区職員定数条例の一部を改正する条例、足立区立児童館条例の一部を改正する条例、足立区保健所使用条例の一部を改正する条例、足立区教育研究所条例、足立区立健康学園施設使用条例の一部を改正する条例、足立区立林間学園条例の一部を改正する条例、足立区野外活動施設条例の一部を改正する条例、足立区用地特別会計条例、足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	×	○	○

永年在職議員を表彰

平成5年3月9日、区議会議員として30年在職された左記の議員に対し、特別区議会議長会から表彰が行われました。

自由民主党足立区議団

賛成

基金活用による積極的な予算編成を評価 今後も行財政改革に取り組み

平成5年度予算は、バブルの崩壊と景気の低迷により、国は0.2%の微増、都はマイナス3%の減額予算を組まざるをえなかった厳しい財政状況の中、区長は自民党をはじめ与党と協力しながら大胆な行政改革を断行し各種の基金積立に努力してきた。5年度予算編成にあたり、この積立基金のとりくずしを積極的に行い、区民生活に少しでも影響を与えぬよう配慮したと思うが、7年ぶり1.7%という微増予算しか編成できなかった現実を思う時、将来の足立区に一抹の不安を感じざるをえない。

しかしながら、今後とも断固たる姿勢をもって行財政改革に取り組み、最少の経費で最大の効果をあげる区政運営を望みつ、以下数点の要望を申し上げたい。

- 再開発・まちづくりは発想の転換をせよ
- 東西格差是正を急げ
- 区民葬祭場の建設を急げ
- 私立保育園改築の対応策を確立せよ
- 景気対策、災害対策を充実せよ
- リサイクル事業を推進せよ
- 梅島駅前を整備せよ
- 都市計画道路の早期完成を図れ
- 親水公園に小魚等を放流せよ
- 電線類の地中化を促進せよ
- 道路用地等官地でありながら実体のないものに適正に対応せよ
- 未整備公園、未利用区有地の管理を適正化せよ
- ゴルフ場を含めた荒川河川敷の整備を進められたい
- 荒川右岸下都道の拡幅、新田までの歩道整備に取り組み
- 児童文化センターの完成と内容充実を図れ
- 偏差値偏重の教育にかわる是正策を示せ
- 学区の見直しと教員報酬を考えよ
- 美術館の早期実現と内容充実のための基金を創設せよ

以上、本委員会におけるわが党委員の提言とわが党の予算要望を真摯に受け止め、今後の区政運営に誤りのないよう強く要望して討論を終る。

足立区議会 公明党

賛成

起債・積立金の活用を評価 生活者最優先の区政実現にさらなる努力を

厳しい状況下にある世界経済の影響を受け91年春から始まった景気後退局面は、すでに2年も続き、こうした景気を配慮して平成5年度の国や都の予算も緊縮型となっている。

足立区を取り巻く状況も一段と厳しさを増す中での予算編成となるが、特に平成5年度は古性区長の4期目の最初の予算編成であり第二次基本計画の最終年次にあたるとともに、平成6年度にスタートする第三次基本計画へのステップとなる大きな節目の年度となる。

平成5年度予算案は、来たるべき高齢化社会及び国際化、高度情報化への確かな道筋を見据えての編成への努力が見られ、各種の財政指数も健全な財政体質を維持しており評価できるものである。

予算編成に当たっては、積極的に起債及び積立金を活用するなど、歳入の確保を図り着実に事業の展開を図っている。その結果、実施計画に定めた計画事業は、予定された89事業中87事業を予算化し、計画事業の予算化率は97.8%、626億円を計上し、対前年度比5.8%の増である。また、新規、拡充事業も84事業となっている。この中には、我が党が予算編成に先立ち、生活者最優先の政治、即ち人間を主役とした「温もりと潤いのあるまちづくり」を基本に、人生80年時代にふさわしい新しい福祉社会のシステム形成等、区長に提出した百数十項目に及ぶ予算要望が、数多く含まれている。しかし、一方で予算化されなかった事業もあり、その中で区民から要望の強いものを二点、今後の要望として指摘したい。

①成人健康検査の対象年齢の引き下げと、無料化を実施されたい。

②本年10月より実施予定の、3歳未満乳幼児の医療制度では、所得制限を撤廃されたい。

本予算委員会等で我が党が提案した事項を区政運営に反映するよう要望し討論を終る。

日本共産党足立区議団

反対

不況対策を中心に、区民の声に耳を傾けた区民本位の予算に組み替えよ

平成5年度一般会計予算は、中小企業や低所得者の生活を顧みず不況対策が欠けた区民に冷たい内容となっている。歳入については国の不当な国庫補助率の引き下げを受け入れ、都が総額を補填することになっている財調財源不足を基準財政需要額を減らすことで収支合わせをするなど、歳入増に対する努力に欠けている。歳出では、まず区の緊急重点課題の地域保健福祉計画がコンサル任せの机上のプランであり、厚生省のプランからも大きく遅れ、寝たきりゼロの視点が欠落し、マニパワーの確保も不十分で、区民からは、これではゴールドプランでなくコールドプランだとの批判もある。アトピー対策は、すべての妊産婦への予防知識の普及が急務であり、区民健診の受診率アップのための、無料化及び他区との相互受診の実施も望まれている。

不況で苦しむ中小企業対策は緊急融資だけでなく、もっと具体的な対応が不可欠である。公団建て替えは、公団のいいなりではなく区民のニーズを反映するべきである。学校教育では、修学援助基準の緩和、学校給食の直営校の環境改善及び全校に栄養士を配置することが求められているなどの多くの課題がある。

国保会計は、国の補助金削減を容認し賦課限度額を2万円値上げしている。均等割りの値下げ、保険料の減免・軽減を活用して区民負担を軽くする努力こそが求められる中で本予算は、とうてい認められない。

老人保健医療特別会計は、外来月額千円・入院1日700円の新たな患者負担が盛込まれており、賛成できるものではない。

用地特別会計は、不良債権を処分して大銀行の救済となるもので、用地取得は土地開発公社での対応で十分であり新設の必要はない。以上、我が党の指摘を真摯に受け止め区民本位の予算への組み替えを要望し討論を終る。

日本社会党足立区議団

賛成

基金、起債の活用による予算を評価 保健福祉計画、用地会計に努力を望む

バブル経済の崩壊による不況は、出口が見定まらぬままなおも長期化が予想され、国民生活に益々打撃を与え続けることになる。93年度政府経済見通しは実質3.3%の成長を見込んでいるがこれを達成するためには少なくとも5兆円規模の所得税減税と公共事業の拡大を図ることが肝要であり、地方自治体においても最善の策を講じることが、今行政に課せられた緊急課題である。

こうした背景のもとで編成された当区一般会計予算案は、対前年度比1.7%増と過去7年ぶりの低い伸び率となった。利子割交付金、自動車取得税交付金はそれぞれ景気の影響を強く受け大きくマイナスとなっており、それを財政調整基金などの各種目的基金の積極的活用と起債増額によって財源を確保し、行政重要に充てようとする努力が見られる。

歳出については、計画事業に対し97.8%の予算化を図り、さらに新規・拡充事業にも取り組む姿勢を評価したい。

この際、二点に限って意見と要望を申し上げておきたい。

一つは、地域保健福祉計画の策定についてである。本委員会での質疑を通じて、策定作業も8合目に達し、発表も本年6・7月頃との感觸を得たが、急ぐあまり批判を浴びる結果になってはならない。十分調査・研究を重ね、関係者との共同作業を重視されたい。

二つには、用地特別会計についてである。特別会計の設置は了解するが、先行取得の名のもとに無策のまま活用を図ることは許されない。すくなくとも実施計画の範囲内での取得に止めること。土地開発公社との整合を十分に図ること。不動産業者からの売り込みに対し不良債権処分一定の枠を設けてはどうか。

以上、委員会での発言、予算要望書の内容を十分踏まえらるることを要望し討論を終る。

足立区民連合

賛成

厳しい財政状況下での積極的な基金活用による取り組みを高く評価する

区政の究極の目的は、いかなる状況下であろうとも、また、どのような社会経済環境に直面しようとも、われわれ区民の誰もが「足立区に住みたい、住んで良かった」といえるまちを作りあげることであり、区民の幸せや豊さは限りなく追求されなければならない。それは単に物質中心に止まることなく、ふれあいと連帯といった精神活動も含めて質的向上を図ることであると確信する。

わが足立区民連合はこの観点に立つて平成5年度予算案を精査した結果、一般会計及び3特別会計の全てに賛成するものである。

深刻な経済不況下にあつて、政府は昨春秋に10兆7千億円の総合景気対策を打ち出し、日銀は公定歩合を史上最低の2.5%に引き下げるなどの懸命な財政・金融政策を展開しているが、景気回復への見通しは明確ではない。

平成5年度の国の予算は緊縮型、東京都はマイナス予算となっており、区を取り巻く財政環境もより一層厳しさを増している中での予算案である。しかし、大変厳しい財政環境ではあるが、財源不足分はこれまで計画的に積み立ててきた各種基金の積極的な活用により補い、区政の重点課題に取り組み、計画事業を着実に実施する体制が確立されている。

行財政運営に示されている3つの重点課題にバランスよく財源配分がなされ、実施計画の87事業に取り組み、また、新規事業、拡充事業も84事業を実施し、さらに景気回復にも配慮した予算案となっている。

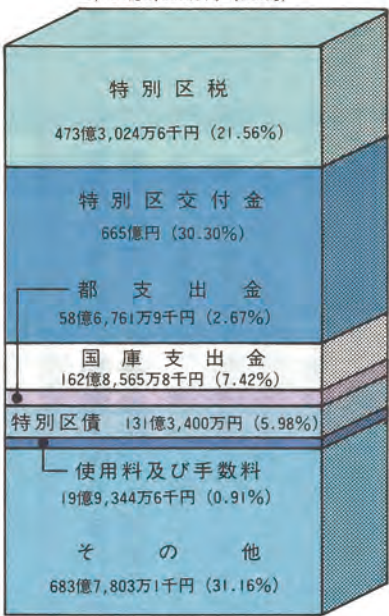
区政が停滞することなく着実に前進できるのも、今日まで徹底した事務事業の見直しなど行政改革に努めてきたからである。今後とも区政の伸展を図りつつ、引き続き行政改革に果敢に取り組み、また、本特別委員会の中で要望した施策についても真摯に対処されるよう要望して討論を終る。

平成 5 年度各会計予算

一般会計

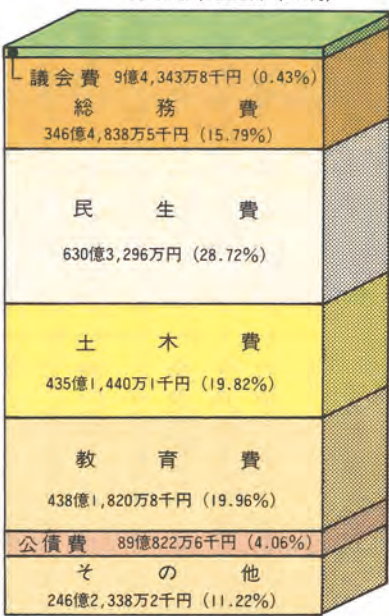
〔歳入の部〕

2,194億8,900万円 (100%)



〔歳出の部〕

2,194億8,900万円 (100%)



国民健康保険特別会計

〔歳入の部〕

396億889万4千円 (100%)



〔歳出の部〕

396億889万4千円 (100%)



老人保健医療特別会計

〔歳入の部〕

309億4,865万8千円 (100%)



〔歳出の部〕

309億4,865万8千円 (100%)



用地特別会計

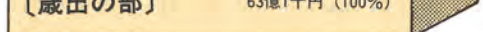
〔歳入の部〕

63億1千円 (100%)



〔歳出の部〕

63億1千円 (100%)



みなさんからの
請願・陳情

不採択にしたもの

○老人館有効利用に関する陳情
老人館の休館日を減らし、有効利用するよう求めたもの

○革靴の関税割当 (TQ) 制度の維持・強化等を求める陳情
革靴の大量輸入を防止するとともに、靴産業振興の関税割当 (TQ) 制度の維持・強化等の

対策を求めたもの

○「保険でよい入れ歯」を要望する意見書提出に関する陳情
「保険でよい入れ歯」を求める都民の要望に応え、意見書を政府に提出するよう求めたもの

○農林水産業の豊かな発展と自然環境を守ることに関する陳情 (第2項)
食糧自給を高める努力とともに、安全性のチェック体制の確立、自然環境の保護等を求めた陳情のうち次の1項目

①食料品の安全性を保障する体制を確立すること

○教育費の父母負担の軽減を求める陳情
次の2点を求めたもの

①社会科見学、遠足、修学旅行でのバス代等の公費負担

②卒業アルバム代全額公費負担

○各学校の文化行事費の補助を求める陳情
学校の文化行事費補助の復活を求めたもの

○定時制高校の大幅削減計画の再検討と都立蔵前工業高等学校定時制機械科・電気科廃科の再考を求める陳情
定時制高校の大幅削減計画の再検討と、蔵前工業高校定時制機械科・電気科の廃科の再考を求める決議を、都知事・都教育委員会に提出するよう求めたもの

○学校給食の民間委託をやめ、

安全で豊かな区直営の給食を充実させるための陳情

安全で豊かな学校給食を実現するため、直営に戻し、調理士の新規採用、栄養士の全校配置、研修の充実等を求めたもの

○足立区コミュニティ文化・スポーツ公社のイメージアップに関する陳情
文化・スポーツ公社のサービスの向上を求めたもの

○労働時間短縮などにより区内労働者が人間らしく働き、人間らしく生きるための労働条件改善の陳情
足立区議会として政府並びに東京都に対し、労働時間短縮の法制化等を求める意見書を提出

継続審査にしたもの

し、また、区に対し、職員の増員や広報活動を求めたもの

○診断書方式鍼灸健保方針の推進に対する陳情
平成4年5月厚生省保険局が公布した「診断書に依る鍼灸健保適用方針」の公正な運用を求め、具体的な事項について即時実施を要望するもの

○坂本弁護士一家拉致事件について厳正且つ迅速な捜査を要請する意見書の提出を求める陳情

○熊倉・菅原邸南側42条2項道路、ブロック塀 (違反建物) に関する陳情

○「国連・障害者の10年」最終年に関する陳情

○避難通路確保と単身者用アパート建設反対に関する陳情

○足立区住宅基本条例制定に関する陳情

○足立区住宅基本条例の制定に関する陳情

○都市計画公園の変更を求める陳情

○建設残土再生工場配置反対に関する陳情

○農林水産業の豊かな発展と自然環境を守ることに関する陳情 (第1項・第3項)

○小学校の授業の水泳指導に対して、学校長の申し出がある学校について助員の配置を求める陳情

○総合文化センター・四百MTラックの陸上競技場・美術館等を求める陳情

○図書館建設協議会の配置に関する陳情

○足立区内都営バス路線新設に関する陳情

取り下げられたもの

○(仮称)古性マンション建設に関する陳情

○児童・生徒減少の中での教育条件の充実、教育費の父母負担の軽減、文化・スポーツ施設の建設を求める陳情

○千寿第三小学校の施設改善に関する陳情

○公団住宅の建て替えに関し、定住保障と高家賃抑制についての意見書の提出を求める陳情

○本木東児童館保育室に関する陳情

○足立区内区立保育園の障害児受け入れに関する陳情

今定例会で可決した

意見書 (要旨)

景気対策として大規模減税を求める意見書

不況の波は一段と色濃くなりつつあり、国民は深刻な雇用・生活不安に脅かされている状況にある。政府は公共投資の増額、公定歩合の引き下げなどで各種対策を講じているが、はかばかしい効果があがっていない。

今回の不況の原因は、企業の設備投資の冷え込みに加え、勤労者の可処分所得の減少等によりGNPの56%を占める個人消費が著しく低迷していることにある。理由は、ここ数年所得税減税が実施されていないこと、雇用者減に伴う雇用者所得の減少、ならびに、景気低迷による実質賃金の伸び悩み等による。不況克服のためには、個人消費の拡大が不可欠である。

新たに提出されたもの

○行政界区域の変更に関する陳情

○診療報酬の引き上げ及び改善についての陳情

○区内保育園の障害児受け入れ拡大に関する陳情

○「人と自転車」が安心して渡れる橋」を要求する陳情

○共同住宅「仮称西新井マンション」建設に関する陳情

○公団住宅の建て替えに関し、定住保障と高家賃抑制についての意見書の提出を求める陳情

○区立図書館の廃棄図書のリサイクルの促進に関する陳情

議会短信

■委員長の交替
2月23日付をもって、厚生委員長 鈴木秀三郎
前委員長 鈴木秀三郎
新委員長 大島 芳江

■議会運営委員の交替
3月9日付をもって、議会運営委員の交替がありました。
前委員 高島 直樹
新委員 杉山 秀雄